

環境学習のすすめ

環境問題とは、私たちの生活に身近なゴミ問題から地球規模で起きている異常気象や地球温暖化まで広範囲で多岐にわたる複雑な問題です。

平成25年夏には、日最高気温の記録を更新したり、各地で局地的に猛烈な雨が降ったり、山口市でも過去に経験したことのない豪雨に見舞われました。9月には、日本の夏の平均気温が統計開始時から長期的に上昇していることや、猛暑日の年間日数が増加傾向にあることについて、気象庁は、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の影響が現れていると発表しています。

地球温暖化などの「環境問題」を解決するためには、私たち一人ひとりが、省エネ、省資源等に努めていくことが大切です。しかしながら、「がんばってエコドライブに気を配っても、電気をこまめに消しても、世の中は一向に変わったようには見えないし、あれもこれも考えていると疲れてしまう。」といった声や「環境問題は『～するな』といった規制事項と『ゴミは分別しろ』といったしつけ教育的な強制事項が多くて・・・窮屈な話ばかり」といった声を耳にするのも事実です。

そのような中、私たち「温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち」では、環境問題の本質に迫る“むずかしい話”や“説教くさい話”のみにこだわらない、講師を派遣する「環境学習講座」を平成22年度に開設し、ご利用いただいているところです。

このたび「とめるっちゃ」では、子どもたちが環境問題を身近なものとしてとらえ、背を向けることなく、実践的に学んでいくことをねらいとして、「環境学習プラン」を作成しました。特に、外部講師による講座（環境学習講座）の活用が難しい学校において、学校の先生が講師となって、授業の進み具合や内容に合わせて、環境学習をわかりやすく、たのしく進めていただけたらと思います。

また、学習に取り組みやすいように私たちの生活に身近な内容としたため、小学校の学習教材としましたが、適宜アレンジしていただき、幼稚園、中・高等学校でも活用していただけると幸いです。

学習プランよろしく

